

総会座談会 セッション B

テーマ：「魅力ある学友会を作るにはどうすればいいか？ - 自分に何ができるか」

日 時：2005 年 7 月 8 日 16:00 ~ 16:50

場 所：日本青年会

出 席：【ロータリアン】計 6 名？

=====座談会 B 内容まとめ =====

熾烈な議論で時には冷静、時には声を上げる方もいらっしゃいました。課題に対してロータリアンや学友の皆様の危機感や真剣さを伺うことができるだろうかと思います。ご質問、意見、経験、成功例、アドバイスなどさまざまなご発言をいただき、以下にまとめました。

現状への認識：

【口】総会への出席状況に残念。10 年前現役の学生も含め総会に 100 名以上の参加に対して本日多くても三十数名の出席者。

【学】四国から来て初めて学友会イベントの参加でとても淋しかった。

問題を明白に：

【口】時代流れで資金源が限られるようになった。集め方や利用仕方に関して焦点を絞っていない。

【学】学友会の目的をもっと明白に、参加の意味はどこにあるか？ “学ぶ会”、“役に立つ会” それとも “楽しい宴会” くらい？

解決手段を考える：

【口】学友自らの関与が重要。そのために理事会の Leadership そして資金の使い方が重要。

【学】理事会役員が自ら世話役になったり、卓話に参加したりする。

【口】学友会入会候補である現役学生、カウンセラーそして学友会間の三者交流を行う。学友会イベントにもインバイト。

【学】IT の有効利用が時代の流れ。最低限でも HP や ML ぐらいから立ち上げる。

【口】HP や ML を周知・連絡の手段として活用し、まず学友会会務連絡費年間 9 万を改善へ。

【口】HP や ML を通じて学友会交流の効率を上げると同時に他の地方の学友会や RI とお互いに情報・経験をシェア。